

小松菜の栽培方法

1 栽培に向けて園で用意するもの

- (1) 25ℓ程度の大きめのプランター4個（大きめがお勧めです）

※2リットルのペットボトルの上部（1／3程度）をカットし、底面に水抜き穴を開けることで、プランターの代わりにすることもできます。

- (2) プランターの底石や底石に代わる物
- (3) 支柱（ネットの支えになるもの）
- (4) ジョウロ
- (5) 園児用の小皿（種を入れるため）

2 栽培方法

【準備】プランターに底石を敷き、培養土を入れる。

培養土が乾きすぎている場合は、先に水やりをする。

【種まき】

- (1) 1～2センチ程度（子どもの人さし指第一関節位まで）の穴を5センチ間隔であけ、種をまき、土をかぶせて手で押さえ（押しすぎないように注意する）たっぷり水を与える。

- (2) 虫よけのネット（寒冷紗）をプランター全体にかけ、ネットの隙間から虫が入ってくるのを防ぐため、洗濯バサミなどでプランターとネットを止める。

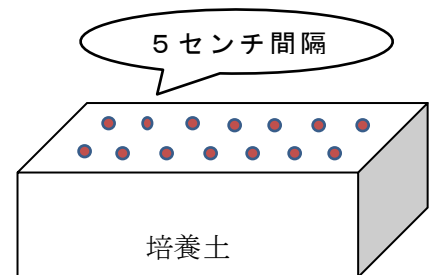
【水やり】

- (1) 芽が出るまでは、1日2回程度水をあげる。
- (2) 芽が出た後、土が乾いたら、水を与える。

※水をあげすぎると根腐れや病気が発生しやすいので注意

- (3) ある程度芽が大きくなってきたら、ネットが20センチくらいの高さになるように支柱等を入れ、小松菜の成長の妨げや、プランターの中が蒸れないように通気する。

【収穫】草丈20～25センチ位になったら収穫する。



※小松菜の種を長期保存する場合は、密閉袋に入れて冷蔵保管すると発芽率が下がらないそうです。（区内農家横山さんからのアドバイス）